

「木場の窓から見えるもの(元外交官の視点)」

弊社理事 石井正文(元駐インドネシア日本国大使)による
気になる海外情報を原則第2、第4木曜日に配信しています。

第87回: 習近平の新年の挨拶

2025年1月9日配信

不透明な2025年の幕開け; 習近平主席新年の挨拶2024年12月(2025年1月9日)

■ 習近平中国主席は、2024年12月31日夕刻に、恒例の「新年の挨拶」を実施。

- ・「新年の挨拶」は、2013年3月の第1期習近平政権発足後、同年12月末に初実施されて以降、習近平政権では毎年恒例の行事になっている。
- ・時間は10分程度(以下、今回の挨拶の全文を貼り付けたが、文字数にして2800字弱)とそれ程長くはないが、習が肉声で前年の総括と今後の政策について語り、全土にTV放映される貴重な機会として、毎年注目されてきた。

■ なお、過去の「挨拶」は、その内容のみならず、背景や机上に置かれた写真や置物などの「小物」の意味の解釈についても話題を提供してきた。

- ・一方、今回は、背景は全面的に万里の長城の絵で中国国旗がおかれているのみで、小物も置物も何も無い。
- ・挿入されたビデオ・クリップは、電気自動車等の技術革新や、宇宙・海底探査等の活動に関するもので、挨拶本文で強調されている「成果」と呼応している。
- ・従来はビデオ・クリップに含まれていた外国首脳との写真も無い(但し、後述の通り、挨拶の前に、プーチン大統領とメッセージを交換している。)
- ・少し穿った見方をすれば、今回は、あいさつの「内容」に注目してほしい、との習の希望を反映しているのかもしれない。

■ 内容は「経済」と「台湾」の2本立て。

- ・台湾については、「兩岸統一は歴史の必然」とした昨年の内容をなぞり、血の紐帯を強調するもので、特段新しい内容は無い。長さも1文、60語未満に過ぎない。
- ・そもそも台湾については、新機軸を打ち出す余地が余り無い。
- ・頼成徳台湾総統も翌日の元旦に「新年の挨拶」をしたが、その内容は、兩岸関係の平和と安定を呼び掛け、それへの挑戦に対し国防費増額、防衛能力強化等を通じ準備すべき旨呼び掛けるものだった。

・これらの背景にあるのは、トランプ新政権の台湾政策の行方が未だ不明確なことだろう。

＊トランプ第一次政権は、対台湾武器供与を増やし、大統領就任時に台湾総統に電話したり従来に比べて高いレベルの政府高官を派遣したりした一方、中国とのディールを重視するトランプ大統領が台湾の防衛自体には関心が無いことを示すいくつかの発言が報じられてきた。

＊第二次政権に向け、トランプ氏のこれまでの関連発言は、中国の台湾武力侵攻への対応につき、関税引き上げのみに触れ武力を使う必要は生じないとの楽観的見通し、換言すれば軍事的コミットメントを避ける発言が目立ち、同時に、台湾に米国による支援に対し金銭的見返りを出すべしと発言したりしている。

■その他の全ては経済だが、内容的には、不動産不況や若年失業の増大等の問題の存在を認めつつも、努力すれば乗り越えられる、とし、政府の各種施策に触れながら、基本的には「自信」を鼓舞するものになっている。

・問題は、「雇用と収入の増加、高齢者と子どものケア、教育、医療など、皆さんが関心を持つ問題を、私は常に心に留めています。」に列挙されている。

・更に、トランプ政権成立を控え外部環境が一層難しくなるとの認識も、以下の下りで明確に示されている。

「当面の間は、外部環境の不確定性もたらず試練や、新旧の推進力のギアチェンジによる重圧など、経済発展は新たな状況に直面します」

・しかし、「これらの難関は努力によって克服でき」と説く。「我々はこれまで、風雨と試練を経るたびに成長してきました。歴史上、いくつもの困難を乗り越えてきたという、自信を持って然るべきなのです。」

・但し、問題解決に時間がかかるかもしれないとの示唆もある。「夢の実現が遠くとも、追えばいつかは辿り着けます。願いの実現が難しくとも、諦めなければきっと叶えられます。」新年の挨拶は、結構正直なのである。

■ただ、上記で指摘した通り、最大の不確定要因は米国新政権との関係であるのは明らかなだ。

・バイデン政権は米中関係への「ガードレール」を設定し不確実性低下を目指したが、トランプ政権下では、全てが不透明なのだ。

・一方、その中で、中国の方が「責任ある大国」としてふるまっている、という指摘は面白い。

当然ながら、グローバル・サウスの重要性に対する言及もある。「世界で変乱が入り混じる現在、中国は責任ある大国として、グローバルガバナンスの変革と、グローバル・サウスの団結と協力の強化を積極的に推進しています。」

・その中で、中国が頼りにするのはロシアとの関係のようだ。新華社報道によれば、挨拶発表前にプーチン大統領と新年メッセージを交換し、両国関係の一層の深化を確認している。

これは現在の中国外交の手詰まりを示しているとも言えよう。

■とにかく、中国にとって2025年は、経済面では国内消費刺激策が一定の効果を生じるかもしれないが(先週世銀はそのような見方を反映し、2025年の中国のGDP成長率予測を0.4%引き上げ4.5%と発表した。)全体的には厳しいものになるだろう。それがどれ程厳しくなるかは、トランプの一挙手一投足に係っている。

【参考; 習近平主席新年の挨拶全文(2024年12月31日) 出典;「中国国際放送局日本語版」】

月日が経つのは早く、まもなく新たな1年を迎えようとしています。北京から、皆さんに心からの祝福をお送りします。2024年、我々は春夏秋冬を共に過ごし、試練の風雨に耐え、雨上がりの美しい虹を目にしました。その一つひとつの瞬間が、この非凡な一年の感慨深く、忘れがたい思い出となっています。

我々は国内外の環境の変化による影響に積極的に対応し、一連の複合的な政策を打ち出し、質の高い発展をしっかりと後押ししてきました。中国経済の景気が上向きに転じ、国内総生産(GDP)は130兆元(2800兆円)台に上る見込みです。食糧生産高は7億トンを突破し、食糧自給率はさらに上がっています。地域発展の協力と基盤がより強固なものになり、新型都市化と農村部振興の融合と協調も一層活性化しています。グリーン・低炭素型発展のさらなる進展により、美しい中国という絵巻が眼前に広がりつつあります。

我々は各地の土地柄に合わせて、新たな質の生産力の育成に取り組んでいます。新エネルギー車の年間生産量が初めて1000万台の大台を突破し、ICチップ、人工知能、量子通信といった分野において新たな成果を挙げるなど、新しい産業、業態、モデルが相次いで生み出されています。月探査機「嫦娥6号」による月の裏側の土壌サンプル採取、掘削船「夢想号」による深海探査、「深中(深セン—中山)通路」の開通、南極の秦嶺ステーションでの科学探査活動の開始などは、宇宙と地球について探求する中国人の志を体現しています。

今年、私は各地の視察を通して、皆さんの多彩な暮らしを目にしてきました。天水市では「花牛リンゴ」が豊作で、東山県澳角村では漁師たちが船を出し、大漁でした。麦積山石窟は千年にわたって「東方の微笑み」を見せており、六尺巷には礼儀を重んじ相手を思いやる伝統があります。天津市の古文化街は人の波で埋まり、銀川市の多民族コミュニティでは住民たちが和気あいあいと家族のように暮らしています。雇用と収入の増加、高齢者と子どものケア、教育、医療など、皆さんが関心を持つ問題を、私は常に心に留めています。この一年間、年金のベース額の引き上げ、住宅ローン金利の引き下げ、直接決済適用範囲の拡大による非戸籍地での医療保険サービスの利便化、消費財の下取り交換制度による生活の質の向上などで、皆さんの暮らしはより豊かで充実したものになったはずです。

パリ五輪では、中国の選手たちが勇気をもって競い、海外で開催された大会での最高の成績を収めることで、若者の向上心と自信を見事に示してくれました。海軍と空軍は75歳の誕生日を迎え、人民の軍隊は新たな気風を見せています。洪水や台風などの自然災害に直面した時は、多くの党員幹部たちが果敢に先頭に立ち、努力と助け合いで乗り切りました。無数の労働者、建設者、起業家はいずれも、夢のために奮闘しています。私は国家勲章と国家荣誉称号を獲得した方々への授与をしましたが、この栄光は彼らだけでなく、身を挺して奮闘する全ての人々にも授けられるものだと思っています。

我々は「一帯一路」の質の高い共同建設を後押しし、中国・アフリカ協力フォーラム北京サミットを成功裏に開催し、上海協力機構(SCO)やBRICS、アジア太平洋経済協力(APEC)、主要20カ国・地域(G20)などの多国間枠組みの場で、中国の主張を明確に打ち出し、世界の平和と安定により多くのプラスのエネルギーを注ぎ込もうとしています。

我々は、新中国成立75周年を盛大に祝い、共和国のこれまでの道のりと巨大な変化を振り返りました。中華文明の伝承は5000年以上も続いています。中国という2文字は、古代中国の出土品に刻まれるほど歴史が深く、今を生きる中華民族一人ひとりの心にも刻まれています。今年、中国共産党第20期中央委員会第3回全体会議が開かれたことで、改革のさらなる全面深化という号令が掛けられました。我々は改革開放という時代の大きな波に乗って前進しており、中国式現代化は必ずや、改革開放の中でより大きな前途を切り開くことになるでしょう。

2025年を迎えて、我々は第14次五カ年計画を全面的に達成し、より積極的かつ的確な政策を実施し、質の高い発展の推進に専念し、高水準な科学技術の自主開発を強化し、経済・社会発展の良好な勢いを維持する必要があります。当面の間は、外部環境の不確実性がもたらす試練や、新旧の推進力のギアチェンジによる重圧など、経済発展は新たな状況に直面しますが、これらの難関は努力によって克服できます。我々はこれまで、風雨と試練を経るたびに成長してきました。歴史上、いくつもの困難を乗り越えてきたという、自信を持って然るべきなのです。

家庭においても、国家においても、世界においても、何よりも重要なのは、人々の暮らしを幸せなものにすることです。どの家庭も、子どもたちのより良い教育、老人のためのより良い養老サービス、若者にとってのより良いチャンスを望んでいます。これらの素朴な願いは、すなわち美しい暮らしへの憧れです。我々は共に努力して、社会の建設とガバナンスのレベルを引き上げ、調和のとれた環境をつくり、人々の身近な悩みを解決していきます。皆さんの笑顔を増やし、心を温められるよう取り組んでいきます。

今年、私はマカオの祖国復帰25周年に際して再び濠江の畔を訪れました。現地の新たな発展と変化を嬉しく思っています。我々は「一国二制度」の方針を揺るぎなく堅持し、香港とマカオの長期的な繁栄と安定を維持していきます。兩岸同胞は家族であり、我々の血の繋がりは誰にも断ち切ることができず、祖国統一という大勢は誰にも阻むことができません。

世界で百年未曾有の変局が加速する中、広い度量をもって対立や衝突を乗り越え、温かな思いやりをもって人類の命運について考えていく必要があります。中国の願いは、各国と共に友好協力の実践者、文明間の学び合いの推進者、人類運命共同体の構築者となって、世界の美しい未来を切り開いていくことです。

夢の実現が遠くとも、追えばいつかは辿り着けます。願いの実現が難しくとも、諦めなければきっと叶えられます。中国式現代化という新たな道のりにおいては、全ての人が主人公です。その全ての努力が貴いもので、見事な光として輝くことでしょう。

今宵、美しい山河に囲まれた幾万の家々が星の光に照らされています。希望に胸を膨らませて、新たな一年と一緒に迎えましょう。祖国の安寧と繁栄を祈ります。そして、皆さまの願いが叶い、幸せで穏やかな一年になりますように。

2024年12月31日

(以上)

以上

りそな総合研究所 理事 石井正文

